

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

|              |  |   |         |            |           |         |    |         |      |        |
|--------------|--|---|---------|------------|-----------|---------|----|---------|------|--------|
| 事業名          |  | 砂防(通常砂防)  |         | 路河川名等      | (砂)堂の沢    |         |    |         |      |        |
| 事業毎の通番       |  | 7   | 市町村名    | 小谷村        | 箇所名(ふりがな) | 虫尾(むしお) |    |         |      |        |
| 事業概要         | 事業目的   | 堂の沢の上流域は地質が弱い弱なため、山腹では過去に何度も地すべりが発生している。平成7年の豪雨により、土石流及び地すべりが発生し、虫尾集落を走る村道を埋塞した。上流域に多量の不安定土砂を抱えているため、土石流の発生源になっている。本渓流に土砂災害防止のための砂防堰堤3基を設置し、下流域の人家14戸、公民館、重要幹線道路の国道148号および村道等を保全する。 |         |            |           |         |    |         |      |        |
|              | しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け   | 4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)   |         | 事業実施の根拠法令等 | 砂防法       |         |    |         |      |        |
|              | 関連する事業、計画等   | なし  |         |            |           |         |    |         |      |        |
|              | 保全対象・範囲<br>受益対象・範囲   | 人家14戸、国道148号(緊急輸送路)、虫尾公民館(避難所)、村道   |         |            |           |         |    |         |      |        |
|              | 着手年度   | 平成30年度  | 事業期間    | 4年間        |           |         |    |         |      |        |
|              | 完成年度(見込み)  | 平成33年度  | 費用対効果   | 5.5        |           |         |    |         |      |        |
| 全体事業内容(主な工種) | 砂防堰堤 1基  |   | 事業費(千円) | 国庫         | 150,000   | その他     | 県債 | 135,000 | 一般財源 | 15,000 |
| 事業効果         | 直接的効果(定量的・定性的)   | 人家14戸、国道、避難所、村道の保全  |         |            |           |         |    |         |      |        |
|              | 間接的効果(定量的・定性的)   | 県及び村の地域防災計画に位置づけられる緊急輸送路の整備により災害時の輸送が確保される<br>避難所を保全することで住民の安全が確保される  |         |            |           |         |    |         |      |        |
| 評価の視点        | 必要性  | 【保全人家戸数】 14戸  | 評価      | A          |           |         |    |         |      |        |
|              |  | 【保全公共施設】 国道148号(緊急輸送路)、村道<br>【避難場所・避難路】 避難所施設、国道148号(緊急輸送路)   |         |            |           |         |    |         |      |        |
|              | 重要性  | 【災害履歴】 平成7年地すべり災害   | 評価      | A          |           |         |    |         |      |        |
|              |  | 【交通影響】 国道148号(緊急輸送路)<br>【位置付け】 長野県、小谷村両方の地域防災計画に記載あり。   |         |            |           |         |    |         |      |        |
|              | 効率性  | 【費用対効果】 5.5   | 評価      | A          |           |         |    |         |      |        |
|              |  | 【早期効果発現】 事業期間:4年<br>【工法等比較検討】 堰堤形式を比較検討する<br>【総合調整】 保安林が無いことを林務部に確認済  |         |            |           |         |    |         |      |        |
| 緊急性          | 【地形地質】 地質が脆弱かつ地すべり地形   | 評価  | B       |            |           |         |    |         |      |        |
|              | 【流域植生】 放置林<br>【平均渓床勾配・土砂整備率】 勾配:10°以上<br>【危険地区】 土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域あり  |   |         |            |           |         |    |         |      |        |
| 計画熟度         | 【情報共有】 小谷村に事業を説明。  | 評価  | A       |            |           |         |    |         |      |        |
|              | 【地域要望】 降雨による災害が頻発していることから、地元住民が自ら写真を撮り、要望が挙げられている。<br>【合意形成】 合意形成が図られている。<br>【住民参加】 砂防施設等維持管理ボランティアにより、砂防河川の草刈等を住民が実施。 |   |         |            |           |         |    |         |      |        |
| 所管課意見        | 当該渓流の保全対象には重要な交通網である148号及び地域防災計画に位置づけられている避難所が立地しているため、速やかな土砂災害対策が必要である。   | 採択状況  | A       |            |           |         |    |         |      |        |
|              |  | ○   |         |            |           |         |    |         |      |        |
| 技術管理室意見      | 所管課の意見を適当と認める。   |   |         |            |           |         |    |         |      |        |

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意ですが、見やすいもので)

**位置図**

①

②

**荒廃状況**

**流域概要図**

堂の沢  
 上流1号堰堤工(透過型) H=14m L=72m  
 上流2号堰堤工(透過型) H=9.5m L=51.0m  
 上流3号堰堤工(透過型) H=7.0m L=49.0m  
 下流堰堤工(不透過型) H=4.5m L=31.8m  
 床固工、溪流保全工 L=70m  
 田土沢  
 堰堤工(透過型) H=9.0m L=76.0m

<堂の沢>  
 流域面積 A=0.47km<sup>2</sup>  
 流出土砂量 V=17,379m<sup>3</sup>  
 <日土沢>  
 流域面積 A=0.06km<sup>2</sup>  
 流出土砂量 V=3,074m<sup>3</sup>

虫尾公民館  
 田土沢  
 国道148号  
 緊急輸送路  
 人家 14戸  
 公民館 1棟  
 避難所  
 小谷村役場

事業概要説明図表

事業周辺環境

|                     |   |
|---------------------|---|
| ①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景 | 流域面積0.87km <sup>2</sup> の土石流危険渓流Iである。河床勾配が急峻で、次回降雨で直下に存在する人家14戸、避難所(1施設)、緊急輸送路に指定されている国道148号等に被害のおそれがある。渓流には崩土が堆積、また、転石も多数存在しており、豪雨時における土石流の発生が懸念されるため、砂防堰堤を整備し、土砂災害の防止を図りたい。 |
| ②地域からの要望経緯及び地域の関わり  | 降雨による災害が頻発していることから、地元住民が自ら写真を撮り、小谷村へ強い対策要望が挙げられている。これを受けて村長から当所へ要望が挙げられている。なお、警戒区域内にある虫尾地区は砂防施設等維持管理ボランティアとして、堂の沢の草刈等を住民が実施しているなど、積極的な取り組みがあり、防災意識が高い地域である。                   |
| ③事業説明等の経緯           | 役場や地元自治会役員の意見を伺い概略的な計画(新規堰堤計画位置)を検討し、計画策定に反映している。   |
| ④他事業・プロジェクトとの整合、関連  | なし  |
| ⑤自然環境・生活環境への影響と配慮   | 周辺環境への影響を抑えることも観点に、設計・工法等の検討を行う予定。  |
| ⑥地域活性化への影響と配慮       | 本事業により、溪流の安全度が高まり民生の安定が図られ、地域防災力の向上が期待される。  |
| ⑦その他                | なし  |

事業代表地点の緯度経度  
 北緯: N 138° 00' 00" 00  
 東経: E 36° 00' 00" 00